

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	御影北小学校	階数	地上4F
建設地	神戸市東灘区御影山手1丁目12-1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,313 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2018年5月22日
敷地面積	10,774 m ²	作成者	東畑建築事務所
建築面積	3,153 m ²	確認日	
延床面積	8,323 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 86%

③上記+②以外の 85%

④上記+ 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.0	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
<p>配慮の概要</p> <p>正門から敷地内のバリアフリーを行い、既存の北校舎と新校舎の西校舎の間にある段差もスロープで解消している。新校舎にはエレベータを設け既存校舎と各階で接続することにより、校舎全体のバリアフリーを実現しています。</p>	<p>配慮の概要</p> <p>耐震安全性の分類をII類とし、重要度係数=1.25を考慮した設計を行っている。耐震要素としての耐震壁をバランスよく配置し、耐震性を高めている。また、アリーナ上部にプールを載せた架橋であり、重荷重を背負ったロングスパン架橋となる。高強度コンクリート、プレストレス構造を採用し、十分な強度と剛性を確保している。また、高強度コンクリートの採用は、耐久</p>	<p>配慮の概要</p> <p>周辺地域には「阪神間モダニズム」と言われる昭和初期の邸宅や、公共建築が震災を乗り越え、数多く残されています。それらの建築群と御影石による石垣、黒松に代表される緑地などが醸し出す、他に類を見ない良好な景観、豊かな住環境を継承し、周辺のまちなみと調和した、新しい景観を創り出します。</p>
<p>その他の配慮事項</p> <p>「住吉川・赤塚山風致地区」の保全方針・育成方針に従い、既存の石垣や樹木を保全しながら校内の緑化を図ります。</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される